

公共事業環境配慮書

農政部 農地整備課

事業名称		
事業名	県営農村地域防災減災事業	
整理番号	31-4	
事業の種類	ため池の改修	
市町村名	上田市	
箇所名	(幕宮池地区)上田市別所温泉	
事業年度	平成29年度～令和3年度(2021年度)	
事業概要		
目的	耐震性を有していないため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	ため池改修工 N=1箇所(幕宮池)	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	なし	
その他		
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域の東側に市道浦里別所線、市道八木沢別所線が位置する。	
土地利用の現況	山地・丘陵である。	
生活関連施設の現況	住居が点在している。	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行はできるだけ避ける。 ・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働をできるだけ避ける。 ・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
水環境	留意すべき地域の概況	腰巻川に隣接する
	【水質汚濁の防止】	
	・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を防止する。 【水循環の保全】 ・水田や地下水・湧水を保全する。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	山地である 丘陵である
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。 【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。 ・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 ・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。 ・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	

野生動植物	留意すべき地域の概況	上田市田園環境整備マスタープランにおける環境配慮区間である。 平成29年2月に環境配慮対策について打合せを行った。 ヤマメ、ヤリタナゴが生息している。
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・工事着手前に、ヤマメ、ヤリタナゴの生息が確認された場合、生息適地へ移動する。	
	・特定外来魚(オクシバス、コクチバス、ブルーギル)が確認された場合、できるだけ駆除し、下流に流出ないように努める。 ・工事機械を搬入する際に、機体の汚れがないか確認し、外来植物が侵入しないように留意する。	
景観	留意すべき地域の概況	水辺空間を形成している。
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】 ・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	別所公園がある
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】 ・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の変更を出来るだけ避ける。	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。		
【資源の有効利用】		
・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。		
・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。		
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い、適正な燃費消費率を維持する。	

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	野生動植物	工事の実施に当たっては、工事機械をよく洗浄するなど外来植物を持ち込まないよう努めてください。	工事機械を搬入する際に、機体の汚れがないか確認し、外来植物が侵入しないように留意します。
2	野生動植物	特定外来魚のオクシバス、コクチバス、ブルーギルが生息する場合には、できるだけ駆除するとともに、下流域に流出しないよう努めてください。	特定外来魚(オクシバス、コクチバス、ブルーギル)が確認された場合、できるだけ駆除し、下流に流出ないように努めます。